

第1回WGの議事内容と対応方針

No.	主な議事内容	対応方針
1	下水道事業へのW-PPPの導入について、短期的には管路のみで導入する場合のVFM算出等の勉強会を実施したい。	下水道事業におけるW-PPP導入に関する勉強会は、7月24日(木)に開催した汚水処理事業広域化・共同化研究会分科会にて実施。 今後も市町担当者のニーズに合わせて、勉強会や個別相談会を実施する。
2	中長期的には流域下水道と流域関連公共下水道をセットにした導入を検討したい。	広域的な導入については、中長期的な検討として位置づける。
3	上下水道の連携を進める上で、水道と下水道、それぞれの特色、取組等の勉強会を開催したい。	短期的には、研修会を実施する。
4	人材育成・確保を今後の議論のテーマとして追加したい。	人材育成・確保をテーマとして追加する。 短期的には、上下水道合同研修会の実施やリクルート活動を実施する。
5	財源確保を今後の議論のテーマとして追加したい。	財源確保をテーマとして追加する。 短期的には、上下水道予算制度等の勉強会や使用料・料金改定に関する研修会等を実施する。
6	必要に応じて、担当者レベルでの作業部会も開催したい。	水道・下水道の個別事項については、水道広域化研究会および汚水処理事業広域化・共同化研究会作業部会において、WGに関連した議論を担当者レベルで行うこととする。 上下水道一体で開催する必要がある場合は別途開催する。
7	各市町等の特性や状況が異なる中で、何を共同化していけるか議論したい。 共同化に関する施策の優先順位と実施スケジュールを検討したい。	各市町等に対し、共同化の推進に関するアンケート調査を実施し、その結果を踏まえ、優先的に共同化を検討していく事項の選定と各市町の参画の意向をとりまとめる。優先順位とスケジュールについては、WGで議論を行う。
8	下水道に関して、流域下水道事業の処理区単位で議論する機会を設けてほしい。	必要に応じて広域化・共同化研究会の分科会として開催する。

各市町(組合)等が抱える課題と提案、取組方針(案)について

